

課題： 現場レベルでは、「自分の担当している設備との相違点がある」、「事故事例を咀嚼するための時間的余裕がない」等の理由から過去の事故情報の活用が進んでいないという状況がある。

チェックポイントとは、現場作業者の安全向上を目的として、事象の進展を防ぐために注意すべき事項を「人」、「設備/機器」、「管理」の観点から洗い出したもの

⇒ 平成27年度は10件の過去事故を対象に791件のチェックポイントを抽出した。事業所の現場経験者による評価では、分析対象事故数の増加及びチェックポイント検索システムVer.1の検索機能の充実を図ることにより、現場レベルで十分活用できるとの評価を得た。

平成28年度の結果

調査研究項目	結果概要
1) 事故進展フロー図の作成	幅広い事業分野から12件の事故事例を選択
2) チェックポイントの抽出	15名の検討員が、12回の検討会を開催
3) チェックポイント集の作成	1426件からなるチェックポイント集を整理
4) 現場保安チェックポイント検索システムVer.2	検索機能の拡充、事故事例への逆引き機能実装
5) チェックポイント集の評価	千葉地区で開催。改善点のヒアリング